

平成23年度第2回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成24年2月16日（木）午後1時30分から4時00分 富山市役所第2委員会室
委員 (委員数5名) 出席5名 欠席0名	委員長 古田俊吉（富山大学教授） 委員 新畑彬（大沢野地域審議会会長） 委員 彼谷環（富山国際大学准教授） 委員 島谷武志（弁護士） 委員 高見まち子（税理士）
次第	1 開会 2 委員紹介 3 委員長の選任 4 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 5 抽出工事の審議 6 審議結果のまとめ 7 閉会
対象期間	平成23年4月1日から平成23年9月30日まで
抽出工事 (落札率)	10件（対象工事件数657件） ① 一般競争入札（239件） ・準用河川中川紫陽花橋下部工工事（97.16%） ・老田小学校校舎改築主体工事（93.93%） ・小泉町配水管布設替（その2）工事（98.56%） ・富山公共下水道浜黒崎浄化センター2系水処理施設（その5）更新機械設備工事（45.84%） ② 指名競争入札（407件） ・市道下新6号線改良工事（99.36%） ・富山市富山南総合公園庭球場人工芝張替（南側2面分）工事（93.14%） ・八尾町小長谷地内防火水槽移設工事（97.78%） ・市道西町禅寺線外ライトアップ設備設置工事（98.63%） ・外輪野地区急傾斜地崩壊防止工事（87.97%） ③ 随意契約（11件） ・牛岳温泉スキー場第2高速ペアリフト握索機オーバーホール工事（94.74%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成23年度上半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別紙

意見・質問	回答
<p>①失格基準の一つである、低入札者の入札価格の平均を基に算出する相対的基準価格（変動の数値）を休止した経緯は。</p>	<p>①失格基準には、もう一つ設計積算額を基に算出する絶対的基準価格（固定的数値）があり、入札価格が2つの失格基準を下回れば失格としていた。しかし、相対的基準価格が絶対的基準価格を下回る極端な低入札が多くなり、品質の確保や下請業者へのしわ寄せが懸念されたことから、相対的基準価格を一時休止し、絶対的基準価格のみで失格判定しているもの。</p>
<p>②予定価格はどのように設定しているのか。</p>	<p>②富山県では、材料単価や労務単価を調査し、設計積算価格を作成している。本市はその価格に基づいて積算を行い、設計積算額＝予定価格としている。</p>
<p>③「準用河川中川紫陽花橋下部工工事」の入札参加資格に、土木工事の総合点数が1035点以上とあるが、どういう基準で決められたものなのか。</p>	<p>③入札参加申請の際に、競争性を確保したもので、A・B・C・Dという業者のランク付けをしており、当該工事は、市の発注基準では、土木工事の総合点数が1035点以上（Aランク）の業者が入札参加できる工事となっている。</p>
<p>④「準用河川中川紫陽花橋下部工工事」を一般競争入札の総合評価落札方式簡易型Aという入札方式で行ったのはなぜか。</p>	<p>④工事箇所が、企業団地の中にあり、周辺に学校もあるため、実際に交通を止める時間を短くすることの工夫、また限られたスペースで行う工夫が必要となり、その工夫を入札時に提案してもらい、契約にもその工夫を反映させるためこの方式で入札したもの。</p>
<p>⑤議決を必要とする契約案件で、仮契約をしたが、議会の議決や市長の専決が得られないため、なかなか本契約にならないということがあるのか。</p>	<p>⑤議決を必要とする契約案件では、議会日程から逆算した日程で入札をしており、仮契約期間が長くないよう配慮している。また、これまで議会の同意が得られなかったことはない。</p>
<p>⑥「富山公共下水道浜黒崎浄化センター2系水処理施設（その5）更新機械設備工事」はJV工事であるが、各構成員の出資比率は。</p>	<p>⑥柿本商会は50%、ユウディケーは20%、アルタは15%、栗原鉄工は15%となっている。</p>
<p>⑦「市道下新6号線改良工事」工事箇所周辺の業者を指名したということか。</p>	<p>⑦現場からの距離を主に考慮し、土木工事を主体としている業者を選定したもの。</p>
<p>⑧「外輪野地区急傾斜地崩壊防止工事」は、市の指名基準ではB・Cランクの業者を指名となっているが、A・Bランクの業者を指名しているのはなぜか。</p>	<p>⑧この現場は、民家の開放地、狭い土地を工事することから、会社の規模と機動力、施工技術について、高い能力が必要と判断し、上位ランクの業者を指名したもの。</p>